

おく. このとき,

$$\begin{aligned}
 (4.6.2) \quad [dF(\mathbf{X}), dF(\mathbf{Y})]_p &= (\mathcal{L}_{dF(\mathbf{X})}dF(\mathbf{Y}))_p \\
 &= \left. \frac{d}{dt} \right|_{t=0} (d\hat{\phi}_t)_p^{-1} (dF(\mathbf{Y}))_{\hat{\phi}_t(p)} \\
 &= \left. \frac{d}{dt} \right|_{t=0} (d(\hat{\phi}_t^{-1} \circ F))_{F^{-1}(\hat{\phi}_t(p))} ((\mathbf{Y})_{F^{-1}\hat{\phi}_t(p)}) \\
 &= \left. \frac{d}{dt} \right|_{t=0} (d(F \circ \phi_t^{-1}))_{\phi_t(F^{-1}(p))} ((\mathbf{Y})_{\phi_t(F^{-1}(p))}) \\
 &= dF_{F^{-1}(p)} \left( \left. \frac{d}{dt} \right|_{t=0} (d\phi_t^{-1})_{\phi_t(F^{-1}(p))} ((\mathbf{Y})_{\phi_t(F^{-1}(p))}) \right) \\
 &= dF_{F^{-1}(p)}([\mathbf{X}, \mathbf{Y}]_{F^{-1}(p)}) = dF([\mathbf{X}, \mathbf{Y}])_p
 \end{aligned}$$

が示される. それゆえ,  $p$  の任意性により  $[dF(\mathbf{X}), dF(\mathbf{Y})] = dF([\mathbf{X}, \mathbf{Y}])$  が導かれる.  $\square$

#### 4.7 接分布・葉層構造

この節において, 多様体上の接分布および葉層構造を定義する.  $M$  を  $n$  次元  $C^\infty$  級多様体とし,  $\pi: E \rightarrow M$  を階数  $m$  の  $C^\infty$  級ベクトルバンドルとする. 各ファイバー  $E_p$  の  $k$  次元部分ベクトル空間  $F_p$  を束ねた集合  $F := \coprod_{p \in M} F_p$  で,  $\pi|_F: F \rightarrow M$  が  $C^r$  級ベクトルバンドルになるとき,  $\pi: F \rightarrow M$  を  $E$  の階数  $k$  の  $C^r$  級部分ベクトルバンドル ( $C^r$ -vector subbundle of rank  $k$ ) という. 特に, 接ベクトルバンドル  $\pi: TM \rightarrow M$  の階数  $k$  の  $C^r$  級部分ベクトルバンドルを  $M$  上の  $C^r$  級  $k$  次元接分布 ( $k$ -dimensional distribution of class  $C^r$  on  $M$ ) という.  $\pi_D := \pi|_D: D \rightarrow M$  を  $M$  上の  $C^r$  級の  $k$  次元接分布とする ( $r \geq 2$ ). 各点  $p \in M$  に対し,  $p$  を通る  $M$  内の  $1:1$  にはめ込まれた  $C^{r+1}$  級  $k$  次元部分多様体  $L_p$  で,  $T_q L_p = D_q$  ( $q \in L_p$ ) となるようなものが存在するとき,  $D$  は積分可能 (integrable) であるといい,  $L_p$  を,  $p$  を通る  $D$  の積分多様体 (integral manifold) という (図 4.7.1 を参照). ここで,  $L_p$  が  $1:1$  にはめ込まれた  $C^r$  級  $k$  次元部分多様体であるとは,  $L_p$  がある  $C^r$  級  $k$  次元多様体から  $M$  への  $1:1$  の  $C^r$  級はめ込み写像の像であることを意味する. 一方, 任意の  $\mathbf{X}, \mathbf{Y} \in \Gamma_{\text{loc}}^r(D)$  に対し,  $[\mathbf{X}, \mathbf{Y}] \in \Gamma_{\text{loc}}^{r-1}(D)$  が成り立つとき,  $D$  は対合的 (involutive) であるとい